

Capo. 5 (G)

ツツジ咲く小道で

G C D Em A D C G A D G D

G C D Em A D C G A D G D
ツツジ咲く小道の中で 小さな手を引いて
C D Em C D G
ゆっくりと進んだこの景色 何年ぶりにみただろう
G C D Em C D
今はただ大人ばかりで 通りすぎるだけの
C D Em C D G
短い間に千々回と観賞 それも仕方のないかな

Em D Em
思い出すよあの頃 石のベンチに腰掛け
Em D G Em
おにぎりに巻かれた アルミホイルの
Em D Em
小さな持ち手ついた フタ付のゴップの
Em D G
ストローくわえる 幼い我が子がいた

G C D G
乳母車降りた嬉しさ いっぱい抱いて
G C D G
乾いた土の上ゆっくり歩いていた
G C D G
20年近くすぎた人は変わってしまった
G C D G
この緑の景色は 変わらない懐かし

1-マール

廃線じきの道すぎたの エマチソウの畦道
ツツジに似たような色して 目を楽しませてくれる
そういえば故郷近くに 同じようなところあって
自転車で走りすぎたところで 祖母の家にはどおり着く

白い運動靴 裏の赤い白帽
チェーンの油で 黒く汚れたジーンズ
石を避けられなくて 時折転んだ
タイヤガードの歪みを見つけたから走った

自転車降りた 疲れをいやすように
乾いた土の上 ゆっくり歩いていた
50年近くすぎた人は変わってしまった
この緑の景色は 変わらない懐かし